

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

高知県

●地域における現状・課題

本県では、平成24年度から令和4年度にかけての10年間で県内公立中学生が約3,000人減少していることから、部活動に関しては学校だけでは継続が難しくなりつつある地域もある。

特に生徒減少の影響を受ける中山間地域では部活動で行うことができる競技が少なくなっており、今後、子どもの活動の機会確保及び選択肢を広げるため、各市町村や関係機関と連携しながら子どものスポーツ環境の整備に取り組んでいく必要がある。

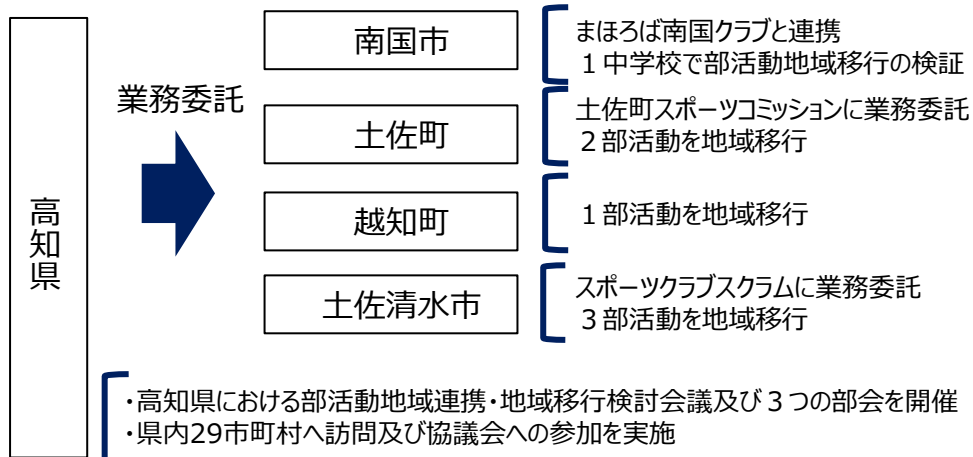
●取組事項の概要

- ①高知県における部活動地域連携・地域移行検討会議の設置。また、より具体的な内容を検討するため3部会（地域移行検討部会、地域連携検討部会、部活動ガイドライン改訂部会）を設置し、部活動改革に伴う様々な取組、規約、制度を広く周知した。
- ②地域移行実証事業を行っている4市町の協議会への参加、事業内容等の実施状況の把握や指導助言を行った。
- ③その他の市町村の部活動改革に伴う会議等にも参加し、国の動向や県の考え方、県内の取組状況などの情報提供を行った。

●取組の成果、特に工夫した点等

中山間地域の多い本県の特徴から、地域により実情や課題が大きく異なるため、訪問や協議会等へ参加した際、それぞれの地域の実情に応じた取組について具体的な助言を行った。特に、1市町村1中学校の市町村など、単独での取組が難しい地域にて、市町村を越えた地域連携・地域移行の取組について協議を行った。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

・県としての取組なし

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

高知県南国市

●地域における現状・課題

南国市には生徒数約550名の香長中から約190名の北陵中、約150名の鳶ヶ池中、100名足らずの香南中の計4校がある。その運動部活動数には勿論違いがあるがその加入率は4校平均55.8%である。運動部活動の盛んな地域であった本市でも中学生の運動部活動離れは顕著である。さらに指導に携わる顧問教員は4中計27部のうち20部で専門指導者が担当しており、残りの7部には部活動指導員が配置されている。また、本市ではかねてから社会体育が盛んであり駅伝、サッカー、バレーボールから軽スポーツに至るまでが若男女の間で行われており、スポーツ少年団やクラブチーム（様々な年代）の活動も活発である。しかしながら運動部活動の地域移行に向けての視点で状況を鑑みたとき、指導者確保が今後の大きな課題でありその量と数のみならず質の向上にも力を注がねばならない。

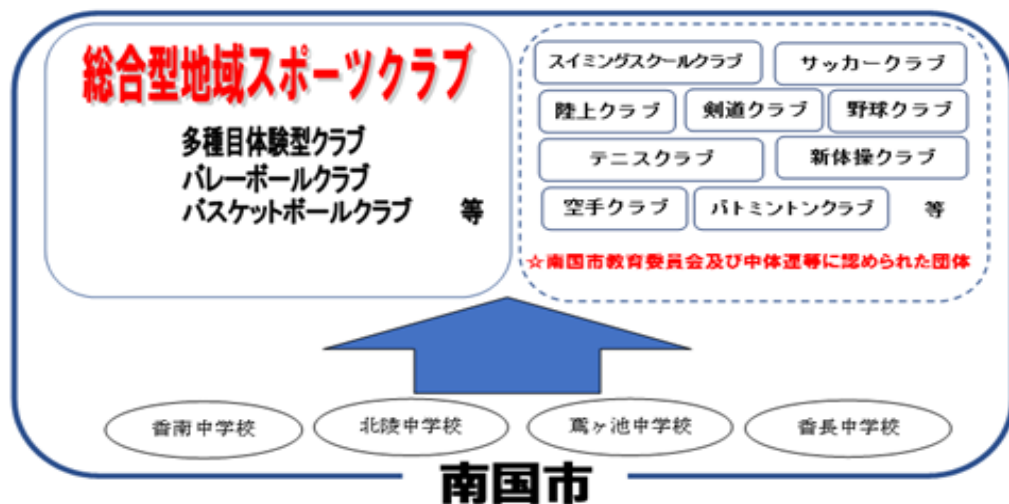
●取組事項の概要

- ・部活動改革推進校（実証校）として香南中学校を指定 ・地域移行の受け皿として総合型地域スポーツクラブ「NPO法人まほろばクラブ南国（以下まほろば）」と連携
- ・部活動改革推進委員会の開催 ・組織づくり（教委スタッフ会、三者会、四者会、校長会）と協議 ・地域移行のねらいと本市の方針について周知（市広報並びに市PTA広報）学校や保護者説明会実施

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・令和6年度より香南中学校女子バレーボール部並びに女子バスケットボールがまほろばに地域移行決定（バレーボールには北陵中学校加入予定さらにバスケットボールには鳶ヶ池中学校加入）
- ・同じく香南中学校の部活動未加入生徒対象の「多種目体験型クラブ」をまほろばに設置決定 ・令和8年度に向けた市内4中学校の部活動ごとの地域移行スケジュール作成
- ・広報活動や説明会によって部活動地域移行への保護者や地域の関心が高まる（市議会にて質問あり） 以上のような成果を得たが部活動改革推進委員会をはじめとした各種会合での入念な意見交換、具体的な方向性、取り組みを明確にすることに腐心した。また県スポーツ協会、県教委保健体育課、県中体連、他市町村との意見交換や情報収集にも力を注いだ。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：総合型地域スポーツクラブ
- (2) 運営主体：NPO法人まほろばクラブ南国
- (3) 種目：バレーボール バスケットボール
- (4) 指導者の主な属性：専門指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：20回程度／月
- (6) 主な活動場所：香南中学校並びに南国市立スポーツセンター
- (7) 主な移動手段：徒歩 自転車 自家用車
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）生徒6000円／年
- (7) 1人あたりの保険料：スポーツ安全保険 生徒 800円／年
指導者1850円／年

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

高知県土佐清水市

●地域における現状・課題

本市では、令和4年度に2部活動の地域移行を実施。令和5年度には、3部活動の地域移行、2部活動の地域連携を実施した。また地域連携として2部活動を実施してきた。令和5年度には検討・運営会議を年3回実施し、課題や現状を共有した。検討・運営会議には、中学校・市教育委員会・地域スポーツクラブ・部活動指導者・スポーツ推進委員等を委員として、今後の部活動の方向性について協議した。課題としては、指導者の後継者不足の問題、予算上の問題、地域クラブでの指導者資格の問題、部活動加入者の減少による部活動自体の存続の問題も挙げられた。また、中学校で継続してきた部活動を高校でも継続ができるよう、今後においては高校とも連携した活動を検討していく必要がある。

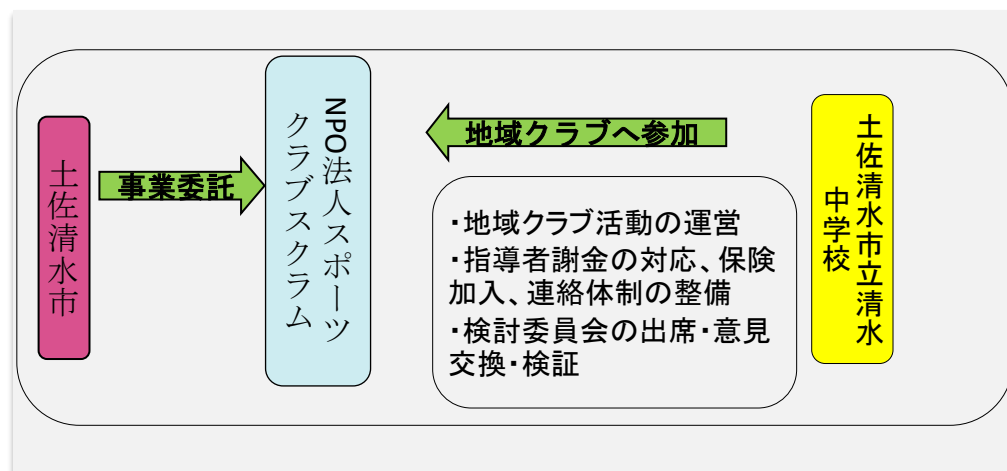
●取組事項の概要

- ①関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
- ②指導者の質の保証・量の確保
- ③関係団体・分野との連携強化
- ④面的・広域的な取組
- ⑤内容の充実
- ⑥参加費用負担の支援等
- ⑦学校施設の活用等

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・令和4年度の課題点を市・地域スポーツクラブ・中学校等関係機関で連携を図りながら、令和5年度は改善に向けて取り組みを行った。
- ・検討・運営会議等で指導者の現場の意見を出し合い、関係者で情報共有と対策を図った。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型（総合型地域スポーツクラブ運営型）
- (2) 運営主体：NPO法人スポーツクラブスクラム
- (3) 種目：硬式テニス・バドミントン・ソフトテニス部（女子）
- (4) 指導者の主な属性：総合型地域スポーツクラブ所属指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：月4回
- (6) 主な活動場所：学校・社会体育施設
- (7) 主な移動手段：徒歩・自転車等
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：12,000円/年
- (7) 1人あたりの保険料：
 - スポーツ安全保険 生徒800円／指導者1,850円・1,200円
 - スポーツクラブ会員保険 指導者1人あたり：500円/年

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

高知県土佐町

●地域における現状・課題

- ・地域スポーツクラブ活動実施の運営母体として町内のスポーツ関係機関がその役割を担うが、現段階で総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、スポーツ推進委員等の関係団体間の連携が取れておらず、実施運営における受け入れ体制の構築が急務となる。

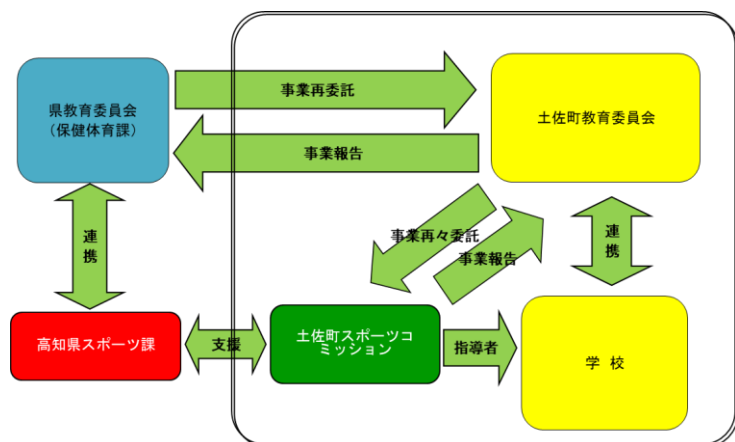
●取組事項の概要

- ・土佐町スポーツコミッションを核とした、町内関係機関（総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、スポーツ推進委員等）を集約し一本化。
- ・持続可能な地域部活動推進体制の構築及びスポーツコミッションの自立的運営の促進に向け、地域部活動のあり方検討委員会を設置し協議・検討を行う。
- ・土佐町スポーツコミッションに人材バンクを設置し、指導者の量的、質的確保を行う。
- ・令和5年度事業では、カヌー部及び剣道部の2部活をモデル部に設定し実証。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・土佐町スポーツコミッション内に人材バンクを設置し、指導者の確保、派遣を行った。
- ・カヌー部は、カヌーアカデミーと合同でトレーニングを行い、アカデミーコーチの元五輪ハンガリー代表であるジョコシュ・ラヨシュ氏より指導を得ている。また、剣道部にあっては、地域スポーツクラブの指導者と部活動顧問が役割を分担したハイブリッド方式で部活動の運営を行っている。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：業務委託
- (2) 運営主体：土佐町教育委員会
- (3) 種目：競技カヌー
- (4) 指導者の主な属性：カヌーアカデミーコーチ
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：約16回
- (6) 主な活動場所：カヌーテラス、早明浦ダム湖
- (7) 主な移動手段：自転車
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：3,600円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒1,500円／指導者1,500円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

高知県越知町

●地域における現状・課題

越知中学校は、生徒数75人に対して、部活動数8部（文化部も含む）と、学校の規模から考えると部活動数が多く、教員への負担が大きい。
学校部活動と地域クラブとの合同チームが県中体連主催大会で認められていないことや、現在の外部指導者が休日の指導が難しいなどの課題がある。

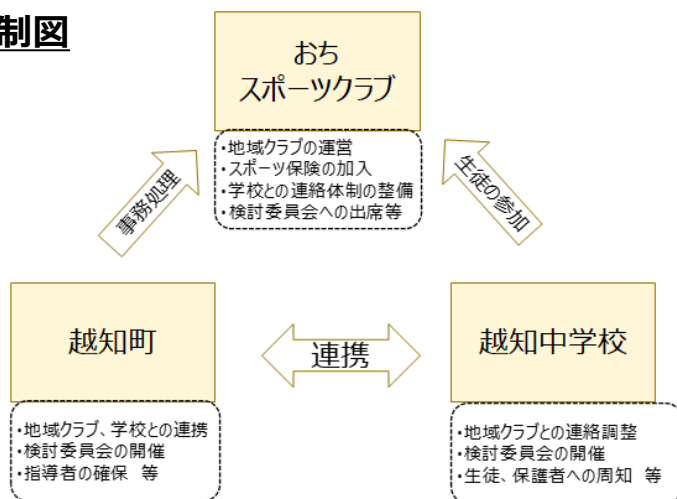
●取組事項の概要

- ・指導方法や練習日などの実務的なことは、顧問とスポーツクラブの指導者で直接連絡してもらうことや、地域移行開始までの連絡調整や検証などは、学校・スポーツクラブ・教育委員会の3者で行う。
- ・平日と休日の指導者間の連携方策を構築する。
- ・越知中学校部活動検討委員会へ、越知中学校長、越知中学校PTA会長、越知町学校運営協議会委員、おちスポーツクラブ会長、越知町スポーツ推進委員長などを委員として委嘱し、地域全体で検討する。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・男子バスケットボールでは、平日と休日の指導者が同じであることから、一貫した指導ができた。
- ・地域の色々な団体から越知中学校部活動検討委員会委員を委嘱しているため、各方面からの意見を入手でき、それを部活動外部コーチに連絡し、よりよい活動に繋がった。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型(総合型地域スポーツクラブ運営型)
- (2) 運営主体：おちスポーツクラブ
- (3) 種目：男子バスケットボール部
- (4) 指導者の主な属性：バスケットボール経験者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：月12回程度
- (6) 主な活動場所：越知町民体育館
- (7) 主な移動手段：自転車
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：24,000円
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円/年／指導者1,850円/年